

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会広報

発行日：平成 25 年 9 月 25 日 発行：針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

針江・霜降地域が選定されている**重要文化的景観**とは、平成 17 年の文化財保護法の改正で誕生した新しい文化財の種類の一つで、自然と人の暮らしが作り上げてきた文化的な風景のことです。針江・霜降地域では、この地域に残る独特の町並みやカバタや水路、湖岸のヨシ群落などの水辺での生活を伝える風景が貴重な文化的景観の要素として高く評価され、平成 22 年 8 月 5 日「高島市針江・霜降の水辺景観」として国の重要文化的景観に選定されました。

また、選定の翌年に発足した「針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会」では、重要文化的景観を活かした地域づくりの推進のため、住民研修会の開催や針江大川合同清掃の実施、地域の案内看板の設置などの活動に取り組んでいます。

重要な景観構成要素の修理事業が始まりました

重要文化的景観「高島市針江・霜降の水辺景観」内では、その景観を形成する重要な構成要素として、カバタや集落内の水路およびいくつかの特徴的な建物が選定されています。この選定された要素を、今後もこの地域の景観にふさわしい形で残していくために修理（保存修理）を行う場合、かかった経費の 1/2 の額が国から補助されるという制度があります。今年度は、この制度を活用して次の 2 件の修理事業が行われています。

○中山家カバタの屋根修理（瓦・垂木・化粧板等の交換を行いました。）



○美濃部家住宅の修理（トタン屋根の取替え、柱・壁の一部保存修理を行います。）

重要な構成要素への追加選定について

重要文化的景観「高島市針江・霜降の水辺景観」内で、国から修理経費の2分の1の費用補助を受けて保存を目的とした修理・修景するには、重要な構成要素として国から追加選定を受ける必要があります。これには、その物件の文化財的価値の調査および国への申請が必要となります。

追加選定物件について、個人所有者・地域のみなさんからご意見がある場合は、平成25年10月末までに協議会役員へお申し出ください。

◎現在、本地域内で選定されている重要な構成要素

- ・カバタ 45件（詳細については、協議会役員または市教委文化財課へお問い合わせください。）
- ・美濃部家住宅 ・行者堂 ・川島酒造店舗および酒蔵 ・正伝寺の亀の池
- ・針江大川 ・石津川 ・前郷川 ・小池川

また現在、協議会では針江・霜降地域の今後のまちづくりおよび文化的景観の具体的な整備方法を定めていくため、「針江・霜降の水辺景観まちづくり事業計画」の策定を進めています。この中で、現在選定されている重要な構成要素の修理方針に加えて、さらに大切に守るべき物件の追加選定も検討しています。「高島市針江・霜降の水辺景観」を構成し、かつ今後も大切に保存していく必要があると考えられる物件案を、ぜひ、ご提案ください。

現在案に出ている追加選定物件

- 日吉神社 ○石津寺 ○針江公民館横の地蔵 ○秋葉神社
- 針江の庚申さん ○霜降のお旅所 ○霜降作業所の石碑
- 中島の木橋 など

針江大川は、この地域の文化的景観を構成する重要な要素です。

今年度も針江区・霜降区が7月28日に大川掃除を実施しました。

